

常任委員会報告

9月定例会で審査された議案等の一覧は、4ページをご覧ください。

予算決算委員会

委員長 野沢 明夫

9月定例会において予算決算委員会が審査した案件は、議案第59号から議案第61号までの補正予算3件、議案第62号から議案第71号までの平成23年度各会計の歳入歳出決算の認定及び剰余金の処分についての10件です。9月13日に補正予算の審査を、9月14日、18日の2日間で決算審査を行いました。

議案第59号は、「平成24年度茅野市一般会計補正予算(第5号)について」です。歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ7億3,988万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ23億5,955万3千円とするものです。また、債務負担行為の追加1件及び廃止1件、地

方債の変更2件の補正です。委員会では議案に対する質疑が行われ、討論はなく、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案第62号は、「平成23年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について」です。

平成23年度の歳入決算額は248億1,211万6,371円、歳出決算額は233億8,550万1万2,138円で、歳入歳出の差し引き残額は9億6,550万4,233円となり、翌年度へ繰越しとなりました。

委員会の審査は、「主要な施策の成果を説明する書類及び歳入歳出決算事項別明細説明書」のペー지를示し、委員と市側が相互に質疑・答弁を繰り返し進行了ました。賛成、反対の討論の後、採決の結果、賛成多数により原案のとおり認定されました。

議案第63号は、「平成23年度茅野市国民健康保険特別会計歳入



3日にわたり慎重に審査

歳出決算の認定について」、議案第64号は、「平成23年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」、議案第65号は、「平成23年度茅野市新墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について」です。

委員会では議案に対する質疑が行われた後、討論はなく、全会一致で原案のとおり認定されました。

議案第66号は、「平成23年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について」、議案第67号は、「平成23年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について」、議案第68号は、「平成23年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について」です。

委員会の審査では、質疑・討論はなく、原案のとおり決算については認定、剰余金の処分については可決しました。

議案第69号から第71号までの3議案は、「財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」です。

議案第69号は泉野大日影財産区、議案第70号は豊平下菅沢財産区、議案第71号は米沢鋳物師屋財産区です。

委員会では一括審査の結果、質疑・討論はなく、全会一致で原案のとおり認定されました。

総務文教委員会

委員長 細川 治幸

9月定例議会において総務文教委員会が審査した案件は、議案2件、陳情3件です。

議案第55号は「公の施設の指定管理者の指定について」です。

これは、公の施設である茅野市民館について、現在の指定期間が平成25年3月31日をもって終了するため、地方自治法第244条の2第3項の規定により新たに指定管理者を指定し、同条第6項の規定により議会の議決を求めるものです。

委員からの、「単年度の指定管理料の決定方法は」の質問に対し、市側からは、「当初の予算は上限という考えであり、企業努力をしていただき、市でも十分内容を精査して最終の金額を決定していく」との回答がありました。討論はなく、全会一致で原案のとおり可決されました。

議案第58号は、「茅野市防災会議条例及び茅野市災害対策本部及び茅野市地震災害警戒本部に関する条例の一部を改正する条例について」です。

これは、災害対策基本法の一部改正に伴い、関係規定を整備するため、条例の一部改正を行うものです。質疑、討論はなく、全会一致で原案

どおり可決されました。

陳情10は、「私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書」です。審査においては、茅野市には地元私立高校があり、経常経費を出していない現状であること、私立高校を助成するのであれば地元の高校が優先であるが、この陳情は中信地区の私立高校についてであること、また諏訪地域における地元の私立高校への助成制度もないこと、私立高校へ通う保護者への直接補助といった内容は採択しがたいといった意見が出されました。

なお、教育の平等という点から、私立高校への援助は必要だとの意見もありましたが、当委員会では採決の結果、不採択とすることに決しました。

陳情12は、「長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への拡大を求める意見書提出に関する陳情書」です。審査においては、中学3年生まで30人規模学級が拡大しないと茅野市内の中学校にも影響がでるとの意見があり、採決の結果、当委員会では全会一致で採択とすることに決しました。

陳情13は、「30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書」です。審査においては、30人以下という数について、その数が本当にいいのかということに疑問が残ること、財源措置につ

いては国においてしっかりとやらせてもらうことなどの論議がされ、「30人規模学級」ということを含めた意見書を提出するというところで、採決の結果、全会一致で趣旨採択と決しました。

陳情12と陳情13については、本会議最終日に議員提出議案として意見書案が上程され、2件とも全会一致で可決された後、関係省庁に提出されました。

経済建設委員会

委員長 大久保 功身

9月定例会において経済建設委員会が審査した案件は、議案5件です。

議案第50号から第53号までの4議案は市道路線の認定についてです。いずれも宅地開発に伴う市道への認定です。

委員会では現地調査を行い、審査においては質疑・討論はなく、全会一致で可決されました。

議案第54号は市道路線の廃止についてです。これは役目を終えた市道を廃止するものです。

現地調査の後の審査では、委員からの「現地と議案の図面に違いがあるのはなぜか」との質問に対し、市側からは、「現地は公図上で目印を付けたが、公図と実測図では違いがあるため」との回答でした。討論はなく、全会一致で可決されました。

社会環境委員会

委員長 堀 晃

9月定例会において社会環境委員会に付託された議案、請願・陳情はありませんでしたが、委員会協議会として永明寺山公園墓地地区画造成について現地調査を行いました。

これは、墓地取得待機者の早期解消と、将来を見据えた墓地需要に対応するために市が進めている事業です。

今回新たに造成されるのは公園墓地の中間に位置する山林部分で、面積は約1,452㎡(約440坪)、100区画程度の造成・分譲を見込んでおり、納骨施設と駐車場の整備も予定されています。

現地には伐採された樹木が市民に無償提供されるため、幹の太さ別に積み上げられていました。



永明寺山公園墓地を現地視察

9月定例会 陳情審査結果

- 地球社会建設決議に関する陳情書 (6月29日提出分) 【市議会の権限外の事項を願意とするもの 議場配布】
- 私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書 【委員会 不採択】【本会議 不採択】
- 地球社会建設決議に関する陳情書 (8月6日提出分) 【市議会の権限外の事項を願意とするもの 議場配布】
- 長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める意見書提出に関する陳情書 【委員会 採択】【本会議 採択】
- 30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書 【委員会 趣旨採択】【本会議 趣旨採択】

9月定例会 議員提出議案 (意見書)

- 9月定例会では、4件の意見書が議員から提出され、3件が本会議で可決された後、関係官庁に提出されました。
- 意見書案の提出について (長野県独自の「30人規模学級」の中学校全学年への拡大を求める) 【可決】
(提出者) 細川治幸 小池賢保 望月克治 勅使川原はすみ 山岸正衛 (提出先) 長野県知事
 - 意見書案の提出について (30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める) 【可決】
(提出者) 細川治幸 小池賢保 望月克治 勅使川原はすみ 山岸正衛 (提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣
 - 意見書案の提出について (予防接種の適正な費用負担を求める) 【可決】
(提出者) 伊藤眞智子 伊藤玲子 北沢千登勢 樋口敏之 小松一平 (提出先) 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣
 - 意見書案の提出について (オスプレイ配備と低空飛行訓練の中止を求める) 【否決】
(提出者) 望月克治 伊藤眞智子